

平成 18 年 8 月 28 日

各 位

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

「第 8 回業務監査委員会」の概要

「第 8 回業務監査委員会」の概要につきましては、以下のとおりであります。

今回の委員会では、当社から 6 月に開催いたしました株主総会ならびに先般公表いたしました平成 18 年度第 1 四半期決算等についての説明を行い、その後、各委員の方々から忌憚のないご意見を頂戴いたしました。

1. 日時

平成 18 年 8 月 25 日（金） 14:00～16:00

2. 場所

北陸銀行本店

3. 出席者

<業務監査委員会メンバー>

石川 達紘	北海道銀行監査役、元名古屋高等検察庁検事長、弁護士、亜細亜大学教授
片木 進	流通科学大学商学部教授、元日本銀行金沢支店長
佐々木 亮子	有限会社アールズセミナー代表取締役社長、元北海道副知事
丹羽 昇	富山大学経済学部教授
本田 百合子	公認会計士・税理士・行政書士
河上 敏嗣	当社常勤監査役

（五十音順、敬称略）

<当社出席者>

高木 繁雄	取締役社長
堰八 義博	取締役副社長（札幌：テレビ会議）
他、常勤取締役 5 名	

4. 当社からの説明要旨

当社より、以下の内容について説明をいたしました。

株主総会の概要

平成 19 年 3 月期第 1 四半期決算概要

ディスクロージャー制度の改正への対応

5. 委員からのご提言・ご質問等について（斜体文字は当方からの回答）

【質疑応答】

< 決算関連 >

第1四半期の貸出金の残高を見ると、個人ローンは伸びているが、その他の貸出金については、まだ厳しい状況が続いているようだが、どのような状況か。

企業の借入依存度が低下しており、どこの銀行にとっても貸出を伸ばすには厳しい状況だろう。一方、敵対的買収・TOBといったことが注目され、企業からは安定株主といったニーズがある。こうした中、資本参加（株式保有）といったやり方についても検討していく時期ではないか。

- ・個人ローンを除く貸出金については、第1四半期の数値は地方公共団体等向けの貸出などで一部特殊要因があった。また、不良債権処理による減少といった要因も大きく、実質的には下げ止まっている。足元では前年比プラスとなっており、ようやく増勢に転じた。
- ・健全化計画のもとに中核的自己資本（Tier1）の半分まで保有株式の圧縮を進めてきた。直近では状況に応じて新規の株式取得を実施している。取引先企業の将来性や株価水準とともに、株価低下時のリスクについても十分検討して対応していきたい。

不良債権比率は地銀平均と比べても高い水準にあり、まだ重荷といったイメージが払拭されない。競争力を高めるためには財務の健全化を急ぐ必要がある。

- ・不良債権比率については、当初掲げた5%台という目標を前倒して18年3月期に達成したが、他の地銀も更に比率を下げたこともあり、他行に比べて見劣りすることは否めない。引き続き精力的に取り組んでおり、1%程度の圧縮は19年3月期を目途に対応していきたい。
- ・ただ、不良債権比率を離れて、再生に取り組む取引先については、地域金融機関としてある程度時間をかけて支援することも必要と考えている。

< ゼロ金利解除の影響 >

ゼロ金利解除の収益影響はどのように見ているか。

- ・預金金利の引き上げが先行したためコスト増加が先行しているが、短期プライムレートの引き上げによって貸出金利の引き上げが進めば、本年度については、ほぼコスト増加に見合う形で収益影響は軽微と考えている。
- ・金利引き上げの交渉については、優越的地位の濫用となることがないようにお客さまへ十分に説明を行い対応していく。

< 内部統制 >

行政による規制のあり方は、世界的な流れで、平常時は企業が主体的に内部管理を行ない、何かあれば厳しく結果責任を問うという方向に変わってきている。内部監査の態勢をしっかりと整え、日常的に内部の規律を持っていく必要がある。

- ・金融庁の検査についても、従来の資産査定中心から、リスク管理面へと重点がシフ

トしている。結果だけではなくプロセスを重視する方向にあり、管理態勢の整備をきちんと行なっていく必要があると考えている。また、監査セクションの独立性が大切だと考えており、そういう体制を構築している。

<人材育成等>

30年前に比べ親切さや商品知識に詳しいといった面で銀行員の質は全般的に低下しているように思われる。研修に工夫を重ねるとともに、行員の心のケアといったことが必要な時代ではないか。

- ・ジョブとペイの一致という考えで、担い手の変換に挑戦してきており、事務的な仕事はできるだけパートスタッフに移行してきた。一方で、取扱業務の多様化もあり、業務が複雑化してきている。
- ・奇手・妙手は無いが、パートスタッフも含めた研修を充実させてサービスの質の向上に取り組んでいく。
- ・人事管理面では、支店長経験者のOBなどを活用して、臨店により相談を受けたりアドバイスをこなうなどのメンタルケアの取り組みも実施している。

<企業支援・顧客サービス等>

地域の中小事業者には、後継者がいないため廃業といった話がよく聞かれる。M & Aのサポートなど、より積極的に取り組んではどうか。また、行政との連携などにより事業者の持つ技術力を評価し、地域として継承していくような仕組みができないか検討してほしい。

- ・M & Aについては、専担の人員が外部のコンサルタントなど専門家とも連携しながら対応する態勢で取り組んでいるが、そうした業務に携わっている人員はまだ多くはない。常時、相応の案件をかかえて対応しているが、なかなか成約に至るまで難しいケースも多い。また、こうしたノウハウに対して手数料を支払うという考えは、まだまだ顧客の中に浸透しているとは言えない状況だが、顧客の立場に立った相談・提案に努めていきたい。

以上

お問合せ先 株ほくほくフィナンシャルグループ 企画グループ 北川 (076 - 423 - 7331)
